十文字学園女子大学と みなさまを結ぶ情報誌



~たちてかひある~

幼児教育学科教授 金勝 裕子 児童教育学科教授 清水 玲子

40年!と一番驚いているのは私たち2人かもしれません。40 年、正確には41年前初めて故 坂元彦太郎学長のお部屋で出会っ た途端にピピッと本能的に意気投合したのが始まりでした。

何の意気投合かと言いますと、幼児音楽に対する考え方、子 どもの音楽に対する考え方が、全く一致している2人だったと いうことです。ですから幼児の歌う音楽、幼児のあそぶ音楽を 怖いくらい同じ好みで選ぶことができました。おかげさまで2 人は幼児向けの月刊誌などに「こぶこぶた」の愛称でさまざま な作品を連載、多くの読者に喜ばれました。

当時は育休がなく産休のみで復帰が当たり前のご時世でした から、似た年ごろの子どもを持つ私たちは、その子どもたちを あそばせたり、踊らせたりするなかで生まれたアイデアをもと に、毎月雑誌の原稿を送り、さらにそのアイデアを授業に反映 させました。お互いに授業も助け合って、今では信じられない 「週16~18コマ」をこなしていました。何と若かったのです ねぇ、学生数もすごい数でしたから。

しかし!何よりもやりたいことを「よしよし」と言って広い 心で見ていてくれたこの大学の環境があったからこそここまで 来られたと、心から感謝しています。こんなわがままな2人が のびのびと仕事ができたのも十文字であったからです。研究ば かりでなく、「太るならおいしいものを食べよう」という姿勢も 2人ともずっと同じです。これからも2人で十文字学園を見守っ ていきます。皆さま長い間ありがとうございました。



親和会総会にてスピーチをする両先生 (左:金勝 裕子教授 右:清水 玲子教授)



就職座談会参加者

(1列目左から) 菅 優奈さん、並木 千鶴さん (2列目左から) 川上 奈恵さん、青井 沙蘭さん (3列目) 佐藤 佳奈さん

Jumonji Press No.46 2018年3月15日発行

発 行:十文字学園女子大学

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28 Tel 048-477-0555 (代表)

集:十文字学園女子大学 広報部

編集指導:石野 榮一 (メディアコミュニケーション学科教授) 取材協力: ライターデザイン部 青井 沙蘭、天羽 菜月、

大槻 優里奈、加々見 優音、金子 葵、 川上 奈恵、三輪 奈央、大山 彩花、竹山 智美

制作協力:ケイ・アイ・エス 有限会社



専門能力だけでなく

自立した女性を育てるために、 建学の精神を体現するような 実学

ところです。それは昔も今も変わことこそ、本学園の教育の目指すを切り拓いていける女性を育てる 理事長 がら生きがいを持って自らの人生 学の精神の下、 かり継承していくことは、私たちの その最たるものでしょう。そうした 学の精神や、「自彊不息(自分をきた 「身をきたへ 大事な務めだと考えています。 「十文字文化」を、時代を超えてしっ えることをやめないの意)」の理念は、 おっしゃる通りですね。 心きたへて…」の建 社会の役に立ちな

幅広い教養も不可欠



り育んできた文化や伝統もありま 充・改編なども積極的に進めてきま した。そうした中で、 例えば、 学園歌に込められた建 変わらずに守

学 長 地域と連携しながら 持続的発展を目指す

ところで、

本学は20

活躍しています。 福祉、ビジネスなどの多様な分野で が、資格を生かして食や健康、教育、 な特色です。 教育を重視しているのも本学の大き 現在も多くの卒業生

理 事 長 応していくことはできません。幅広 教養教育も、より一層充実させてい うでは、今の社会の激しい変化に対 の専門職のことだけしか知らないよ れていくべきでしょう。 めの職業人教育には、今後も力を入 く必要があると思います。 い視野と柔軟な思考力を培うための 社会に出てすぐ活躍するた ただ、 自分

しては、 提供していきたいと考えています。 学長 まったく同感です。教育に関 強化にも取り組んでいます。学科間 となす」という観点から、学科長会 また、学長就任後は「和を以て貴し 育」を心掛け、多彩な学びの機会を 唱した「学生の伸びしろを生かす教 けると思います。 も、これまで以上に議論を深めて の結びつきをより緊密にすること や副学長会などを開き、学内の連携 学科の枠を超えた学びについて 前学長の横須賀薫先生が提

> 理事長 て多くの地元高校生が本学に入学 来的には、こうした取り組みを通し 献などに関する連携はもちろん、将 での本学の存在感を高めていければ 携・協力を積極的に推し進め、 ことなく、これからも地域との連 **学長** COC事業の枠にとらわれる まざまな形で寄与してきました。 物栄養学科も地域の健康づくりにさ 埼玉県や新座市の学校・団体となが 元の自治体や企業などとも協力しな に採択されました。学生たちは、地 と考えています。教育研究や社会貢 らく協力関係にあります のつながりが非常に強い大学です み、成果を挙げています。 がら地域の課題や社会活動に取り組 の拠点整備事業(大学COC事業)」 人間福祉学科や幼児教育学科などは (平成26)年に文部科学省の「地(知) し、卒業して地域に貢献するという もともと十文字は、 また食 地域と 地域



幼稚園、

大学、

大学院を次々に開設

時代を見据えて学科組織の拡

学 長

本学園は短大をつくった後も

なかった記憶があります。

とんど畑で、

民家も数えるほどしか

長と下見に来たとき、この一帯はほ

年でした。新座に良い大学用地があ

ると聞き、2代目の十文字良子理事

開学が実現したのは、ことが亡く

の校舎再建に手いっぱいで、短大の しかし、当時は戦災で焼失した巣鴨 つくりたいと考えていたようです。 え始めた昭和20年代から上の学校を

なって11年後の1966(昭和41)

が大切だと思います。 常に新しい時代に求められる女性像 で学んでよかった」と思えるような 理事長 私たちが一番心掛けなけれ を模索し、教育に反映していくこと 大学にしていくこと。そのためにも ばならないのは、卒業生が「十文字

学 長 ず」の精神で、 いきたいと思います。 園と大学のさらなる発展に尽くして てその先を見据えながら、今後も学 わけですね。創立100周年、そし 持続可能な発展へとつながっていく そうした不断の努力が、 大学自身も「自ら彊めて息ま 常に進化し続けて 大学の

のビジョンなどを語っていただや今後のさらなる発展に向けて志村二三夫学長に、本学の歴史目を前に、十文字一夫理事長と 周年を迎えます。この大きな節園は、2022年に創立100 巣鴨の地に誕生した十 922 (大正11) 年、 文字学 東京

十文字学園女子大学 学長

[しむら ふみお] 1948年山梨県生まれ。77年東京大学医学系研究科 博士課程修了(保健学博士)。東京大学医学部助手、コーネル大学・ニュー ヨーク州立獣医科大学生理部門リサーチアソシエートなどを経て、94年 に十文字学園女子短期大学教授に就任。2017年4月より十文字学園女 子大学学長。

SPECIAL INTERVIEW

学校法人十文字学園 理事長

[じゅうもんじ かずお] 1936年東京都生まれ。祖母は十文字学園創立 者十文字こと、母は第2代理事長良子。55年東京教育大学附属高等学 校、59年慶應義塾大学法学部卒業。84年学校法人十文字学園理事に 就任。87年より同理事長。

これからの十文字学園女子大学

学園創立100周年に向けて-

理事長

創立者の十文字ことは、大

学長 本学園が創設されてまもなく

「十文字文化」の継承を

00年になります。

歴史と伝統に支えられた

学や短大へ進学する女性が徐々に増

学内では運動系、文化系合わせて40のクラブ・同好会(学友会登録)が活動しています。 大学生活の1コマを彩る学生たちの活動の様子をお伝えしていきます。興味がわいたらぜひ見学に来てください!!

心身共に 鍛えていく-

剣道部



強さなど学ぶこともたく ないところを考えることができ と戦うことで、自分たちの足り こともありますが、強いチー ず、悔しい思いをして涙が出る うような成績を残すことができ 大会に出場してもなかなか思 相手 から技術や気持ちの 成長に さ

●活動実績

第19回秋季東都女子大学剣道大会 団体の部3位

- ●活動日 火・木・金・土
- ●活動場所 記念ホール (メインアリーナ・サブアリーナ)
- ●活動内容

関東女子学生剣道大会・関東女子学生剣道優勝大会・ 東都大会・埼玉県女子学生剣道大会・関東女子学生剣 道新人大会・練習試合

大 践まで、多くの 励んでいます。 多くの稽古に日々 基本から実

動を行っています。 厳しくも楽しく充実した部活 みんなで高め合い 人と少ないです

ださいます。また、 でいます。 ニューを考えた練習にも取り組ん に稽古をして私たちを鍛えてく コーチに来てくださり、 し信頼を寄せている女性の先生が 実績を多く残し、 自分たちでメ 私たちが尊敬 毎回一緒

興味を少しでも持ってもらえ

ら自分を磨いて い くこともで

ていたけど今はやって 者として始めるのは…」「前にやっ 多くの方に剣道を知って まずは見学に来ていただけ

クラブ活動 紹介します!! vol.1

部員同士仲良く 何事も楽しむ

J和太鼓部



想定外の出来事が起きることも少 間違えて持ってきてしまったり、 (桐華祭で行われるステー 年の桐華祭です。 ける理由になっていると思います。 から「心に響く」と言っていただ けており、その気持ちが観客の方 フォーマンスを発揮する事を心掛 にあっても、できる限り最上のパ なくありません。そのような状況 ち合わせ通りに進まなかったりと 思い出になっている出来事は今 今までガチコン ・ジ発表

ます。それがチー めに全員で遊びに行くこともあり んでいます。 何事も楽しむことです。 また親睦を深めるた ムワー -クの秘訣

にもなっています。 学外での演奏では、 は部員同士仲良く 太鼓の台を

力で楽しんで演奏をしまし 言っていただけたのがうれしか 方に「とても楽しそうだった」 ができました。 もいただき、 は何よりも常に笑顔を心掛け、 完成度はもちろんですが、 楽しんでいただきました。 かった創作曲を演奏し、 曲にも挑戦しました。 ガチコンで優勝、 W受賞を果たすこと お客様や審査員の 今までにな 桐華賞 私たち 演奏の

●活動日

毎週火曜日・第3月曜日 昼休み (自主練)

夏合宿 (全員参加)

春合宿 (2年生のみ)

●活動場所 多目的防音室

●活動内容

桐華祭、クリスマス会、オープンキャンパス、新座市・ 志木市周辺のお祭り、イベント・福祉施設での演奏等

人間発達心理学科

綿井 雅康副学長

留学生の

本学では学部、大学院

留学生別科で数多

のフグちゃんこと、

はず。そんな本学の教職員を紹介していきます。 学生時代は人間形成に大きな影響を持つ年代。親や兄弟、 普段の学びの中で教職員から受ける大なり小なりの影響は少なくない 友人はもちろ



綿井マジックで、

全員笑顔!!

引役を務めるなど大学運 われ、教育体制改革のけ では「ダンディ綿井」と言 授の綿井雅康先生。 す。「ダンディでなく ちまた

学生からの人気が高いのも納得です。 営では欠かせない存在で 学長で人間発達心理学科教 ダラケタ綿井です」

かるような気がします。ゼミ合宿は大変厳しいものらしいですが、の姿を見れば、ゼミ生たちが学ぶことに楽しさを見いだしていることが分 井マジックが 「それもまた私の優しさの裏返し」とは綿井先生の弁。 綿井先生の研究室に飾られた写真のゼミ生は、全員笑顔。もしかして、綿 研究と教育ができる大学教員の道を選びました。 にかかった? と思いましたが、教育心理学を語る綿井先生

大学入学後、「教育心理学」を専攻し、その奥深さに魅了され大学院に進学。

小学校の教員になりたかったそうです。

しかし、

いるようです

綿井先生はもともと、

をしてください」 学生のうちに自分にどのような特徴があるか知る努力 に願うことはただ一つ、幸せになってほしいというこ してほしい (自分らしく頑張れていることが幸せにつながる。心理学的に言うと、自己実現をすることです。自 いと考えているのか聞いてみました。「学生綿井先生は十文字の学生にどのように成長

学生から愛されてやまない名物先生です。 (ライターデザイン部 三輪奈央、 川上 奈恵)

今回ご紹介するのは、

グについてもっと知りたいと思い、研究者という道を選びました。グを扱う会社に就職しました。母国ベトナムではフグを食べる食文化が無く、

大学院で食物栄養学を専攻するリンさんは、

トナムの大学を卒業.

が無く、フ

「美味しいフグをベトナムにも」

十文字学園女子大学大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻

ヴゥ・テゥイ・

リンさん (ベトナム)

の大学と連携して栄養学を学べる課程の運営に全面協力している実績があり、が学べ、自分の夢を実現できる大学だと考えたからといいます。本学はベトナ

実ん

リンさんが研究場所として十文字を選んだのは、何より国際的な視点で栄養学

際に通ってみても国際食の文化を研究する場所としては一番適した環境だと感じ

でまフブま毒性が強い魚という認識で、フに日々研究に取り組んでいます。ベトナム在籍。ベトナムでもフグが食べられるようーリンさんにご や安全性などを研究して をベトナムの人にも広めるため、 日本で食べられているようなおい. グを食べる文化はありません。だからこそ、 リンさんは201 · 6 年 いるのです。 4月から大学院に 調理方法 しいフグ

性分析の表を作ることです の夢は、世界中にあるフグののニックネームで親しまれて 茂先生や研究室のみんなから〝フグちゃ てもらっているそうです。なっていますが、今でも研 一度就職した会社は一時的に辞めた形に 世界中にあるフグの種類とその 今でも研究をサポ 指導教官の山本 いるリンさ

(ライターデザイン部 天羽 菜月、 金子 葵)

ゼミに直撃

栗崎純純

食物栄養学科 ゼミ

本学の各学科では原則3年次からゼミ活動が始まります。学生は担当教員の専門分野を軸にさまざまなテーマ

(ライターデザイン部

大きなダチョウの卵がある研

彩花、

智美)

シリーズ初回となる今回の訪問先は、食物栄養学科の栗崎純一教授のゼミです。 究室で栗﨑先生に研究テーマやゼミの様子を伺いました。 に取り組み、最終的には卒業研究をまとめます。ゼミにお邪魔し、その模様をシリーズでお伝えしていきます。

その延長で、 にしていると聞きましたが おからを研究テー マ

栗﨑 問題意識です。 べる主食にどれくらい使えるかという べるのはきついですよね。 そうです。おからをそのまま食 要は毎日食

の特性上、

やはり実験することが多い

込みもしますが、担当分野(食品科学)

れ10人前後です。

文献の調査とか読み

栗﨑ゼミの様子を教えてくださ

ゼミ生は3、4年生で、

それぞ

なぜ、 おからをテーマにしたので

てチー

ムを作り協力して研究に取り組

むことが多いです。

ゼミでは主にどのような研究をし

ているのですか

ています。

いくつかのテーマに分かれ

ういうことが好きだっていう学生が来 いろんな分析装置も欠かせません。そ ですね。ゼミ活動でも実験室が必要で

栗﨑 維が豊富。摂取が足りないのに一方で 足りてないんですよ。おからは食物繊 食物繊維が豊富なおからをあまり たいない」です。日本人は食物繊維が 理由は、 簡単に言うと 「もっ 食



栗﨑 純一教授 専門: 食品生化学・食品免疫学・食品加工学 研究対象: たんぱく質・たまご・おから・食品 機能 東京大学大学院修了・農学博士

なあって。 さない。 ができれば健康にも環境にもいいなと。 ですよ。主食にうまく取り入れること それって無駄なことをして 使われないとゴミになる

らに重点をおいているのですか おから入りのメニュー たっておいしさと健康維持、どち を作るにあ

栗﨑 らけだとちょっと魅力ないなって思う ら食べてもらえない。1日中おからだ じゃないのかなって。 能になる。健康面から見ると、 主食になり、 おからを取り入れ、かつおいしければ んだけど(笑)、ご飯、 両方ですね。おいしくなかった 1日3食食べることも可 パン、 麺類に いいん

おいしくて健康的って一石二鳥で

ね

栗﨑 ないし意味がないということを伝えた は、難しいことも目指さないと楽しく ばもう言うことないと。 いと思っています。 しか ŧ 環境っていうのが入れ 学生たちに

ています。

性の食品から食物繊維まで幅広く扱っ

ことができるのではないかって、

そう 動物

いう研究にも取り組んでいます。

た資源をもっと日々の食生活に生かす

言えるかと思います。最近は、

限られ

外の卵を人間の生活にもっとうまく役

ひとつはダチョウ卵など鶏卵以

立てられないかなっていう研究です

生物多様性を生活に生かす研究と

研究は各班で進めているので 3・4年生の交流は少ないです が、年に数回、歓迎会などの パーティーを行い親睦を深め ています。桐華祭では3年生 が中心となり、おから入りパ スタの販売やポスター展示を



(4年 川窪 さつきさん)

衆院選を控えた10月4日、お笑い芸人たかまつななさんを 講師に迎え、選挙や政治について学ぶ特別授業がありました。 さすがお笑い芸人!ゲームやイラストの資料で選挙の仕組み を学び、若者が投票に行くことの大切さを楽しく実感するこ とができました。

(メディアコミュニケーション学科1年 竹山 智美さん)



津吹卓先生(元十文字中高・児童教育学科教員) 主催の「親と子の 夏の自然観察・交流会」を大学内の「十文字の森」で開催。参加者は、 十文字学園の中・高・大の教職員やご家族で、子どもも大人も、虫の"気 持ち"を考えて観察する楽しさを林の虫から学びました。

(人間福祉学科山口由美准教授)



9月24日と10月14日、埼玉県南西部地域復興センター主催の「自転車ツアー」が開催されました。

「学生実行委員」6人が春先から企画に関わり、"女子大生らしさ"をアピールした「名所やパワースポット、グル メを巡るAコース」、2020年に向けた「オリンピック、パラリンピック競技を体感できるBコース」をツアー実行委 員会でプレゼンし、コースとして認定されました。

当日はAコースに参加。多くの参加者が自転車を通して「地元の良さ」を感じているようでした。NHKニュースに も取り上げられ、多くの方に紹介することができました。今後も地域を盛り上げていきたいです。

(メディアコミュニケーション学科2年 川上 奈恵さん)



2014年に誕生した本学のマスコットキャラクター「プラ スちゃん」は活動をサポートする「プラスちゃんくらぶ」のメ

ンバーと地域のイベントに積極的に参加しています。

プラスちゃんは大学と地域、そして学生の成長の懸け橋 (生活情報学科4年 佐藤 佳奈さん) となっています。



高齢者と介護者のためのカヲエを開催

ほっとカフェは「誰でも集えるカフェ」です。地域の高齢者の 方が集まり、気楽に話せる場所として昨年から始まりました。 今回は集まった皆さんと一緒におまんじゅう作りをしました。 参加者に楽しんでもらえるように、そして和やかな雰囲気づくり

ができるように取り組みました。 (人間福祉学科4年 池浦 友美さん)



一日警察署長を務めました

警察官の制服で街頭啓発を行いました。

交通事故は日常生活の中で一番身近な問題。最近は、自転車に関係する交 通事故が多いので、夜間は反射材等を活用して事故に遭わないようにしましょ う。交通死亡事故『ゼロ』が合言葉です! (児童教育学科4年 愛敬 水咲さん)

研究活動やスポーツ、ボランティア、各 種イベントなど、キャンパスの内外で多彩 な活動を展開する十文字学園女子大学の 学生・教員たち。このコーナーでは、そう した日々の活動や出来事をご紹介します。



季節のイベントを楽しんでいます

種まきから収穫まで丁寧に愛情を込めて行うことで、食材を育てる達 成感や旬を感じています。日常生活では体験しない「土に触れること」が、 日々の忙しい学生生活の癒しとなり、気分転換になっています。

(ニコニコ農園部部長 食物栄養学科3年 吉村 麻友子さん)



東京オリンピック出場を 目指します

父はニジェール人、母は日本人。アフリカのテン ションを継いでいるので「絶対勝てる」「負けること はない」という思いで、試合の恐怖心に立ち向かっ ています。時々へこたれますが、そんな時は家族の 応援を糧に乗り切っています!!

(健康栄養学科3年 石井 咲蘭さん)



浴衣姿の学生が学内を彩りました

毎年恒例の七タイベント「織姫祭」。文芸文化学科の学生を 中心にさまざまな企画が実施されました。ランタン作りのワー クショップ、LEDライトを使ったフォトコーナー、ご当地キャラ クターが演じる七夕物語など、地域の方々も一緒に充実した一 日を過ごしました。 (文芸文化学科 星野 祐子准教授)



でオリエンテーリング部の学生が優勝

12月3日、国営讃岐まんのう公園で行われた「第26回全日本リレー オリエンテーリング大会」に出場し、ジュニア女子選手権で優勝しま した。個人種目ではなくリレー形式なので、自分の記録だけ追い求め ず、ミスをしないように落ち着いて注意しながらレースに臨みました。 (左:食物栄養学科2年 小林 美咲さん、右:食物栄養学科3年 村山 友梨さん)

ミュージカルクラブは2日間にわたって「人間 になりたがった猫」を上演。大勢の観客の前 で日ごろの練習の成果を披露しました



食物栄養学科の井上久美子ゼミでは、3年生が「くみこのおやさ いウォッチ」という食育活動を行いました。参加した子どもたち は野菜の模擬収穫をし、見て触って…実体験を楽しみました!







3号棟には桐華祭名物幼児教育学科の「ダンボールシティ」がオープン。ダンボールで作られ た数々の遊具に子どもたちのテンションも最高潮!

第51回桐華祭実行委員長 人間発達心理学科 3年 関根 奈月さん

51回目となる今年度 は、50回から100回 につなげるスタートと なる桐華祭にしたいと 考え、「Plus 〜新たな 一歩~」をテーマに決 めました。すべてのお 客様と参加者に楽しん でもらえるよう、実行 委員全員で力を合わせ て準備をし、当日の悪 天候にもかかわらず、 成功させることが出来 ました。









がセレモニーを盛り上げる



定の舞台の一部を披露







2017 10/28.29

当日は、

キャラクター「プラスちゃん」



特産の晩白柚や、麦みそ入 りの手作りシフォンケーキ で熊本復興を支援(食物 栄養学科・金髙有里ゼミ)



地場野菜を使ったヘルシー なスイーツ「にんじんケー キ」はいかが?(食物栄養 学科・小林三智子ゼミ)



具材と愛情がたっぷり入った自慢の「ちゃ んこ」。体の芯から温まります(武蔵野会)



具材たっぷり。本格派の 五目ごはんです(なぐら deごはん)



おからを麺に練り込んだ トマトパスタは食物繊維 たっぷり (食栄フードデザ



ホクホクの大学芋のほか、新鮮な野菜も 販売してま~す (ニコニコ大学芋)

COC事業

熊本復興&新座活性化!!

くまプラスウィーツプロジェクト

こんチョコベー じく名産の「れ ンパン」や「晩白柚シフォンケー リー」)を紹介していただきました。 のパン屋さん(「輪粉」、「コマメベ 座市役所に相談。新座で大人気の2つ -グル」「ゴマ

すさ、流行、衛生面などを考慮して、新 ある「晩白柚」の特徴や 熊本県の名産で世界一大きな柑橘類で 商品化が実現したのは、「晩白柚メロ り方を教わりました。そして、売り んこん」を使った「れ いきなり団子の

学生たちが知恵と気持ちを結集し

※十文字元気プロジェクト

学生が主体的、創造的に活動できる機会を提供し、大学生活をより充実したものにするための本学の支援。 3人以上のグループにより学生自身が企画・運営・実施するプロジェクトを公募し、学生支援企画委員会に て審査、選考を行っています。

るため、学生たちは熊本へ視察に行き 商品開発が始まりました。 クト*」に応募、審査が通った6月から 算確保のために「十文字元気プロジェ び掛けたのがきっかけです。そ や街の様子を思い、「自分たちにできる 親友のことや震災前に観光した熊本城 栄養学科3年)が、熊本地震で被災した 進学した親友をもつ原千里さん(食物 ことはないか」と、金髙ゼミの仲間に呼 このプロジェクトは、熊本の大学に 熊本の食材を使用した商品開発をす

(食物栄養学科 金髙

援金、熊本城災害復旧支援金として寄 収益金の一部は、熊本県熊本地震義

ニュースや新聞各紙にも取り上げられ にしました。この取り組みはNH 『自分たちにできるなにか』を探し、 20日、野火止ふるさと広場で販売しました。的に、熊本県と新座市の特産品を使用したオリジナルスウィーツを考案し、1月食物栄養学科3年生8人と金髙有里講師は、熊本復興支援と新座の活性化を目

有里講師)

十文字学園 女子大学開発

にんじん畑ドレッシング

~ドレッシングからオリジナルレシピまで~

シングが完成しました。 学園女子大学」の名前の入ったドレッ 好等の違う人への試食を重ね、「十文字 地域活性につなげることを目的に挑戦 野菜を加工食品にして販売することで の配合、色味等を研究し、年齢、性別、 きから収穫までを行 のレシピ開発を目指してきました。 力を得て、にんじんを使ったスイ め、新座市の農家である尾崎農園の協 の多いにんじんの有効活用をはかるた 「にんじん畑ドレッシング」は、地場 た。学生たちはにんじ 栄養価や材料 んの種ま 嗜

け風」「冷製パスタ」など「にんじん畑 みを進めました。サラダ以外でも利用 していただけるように「アジの南蛮漬 による地産地消へ向けての取り さらに昨年は、完成したド ッシン

> 「にんじん畑ドレッシング」と 「にんじん畑ドレッシング

オリジナルレシピの開発に取り組んだ小林 ゼミの学生たち

オリジナルレシピ」

※COC事業 (地(知)の拠点整備事業)

平成26年度文部科学省により採択。 大学が地域コミュニティの中心となり、教職員と学生がともに 「地域のための大学」として地域の課題解決に努めていくという事業です。

した「にんじん畑ドレッシング」が今年 助手やゼミの学生たちとゼロから開発 座市の天然水で製造した酢を活用 新座の畑で採れた秋冬にんじんと新

グ」の開発からオリジナルレシピ作成までの活動をお聞きしました。用」に取り組み続ける食物栄養学科 小林三智子教授に、「にんじん畑ドレ

COC事業*の研究課題である「地域との連携活動を通した地場野菜の有効活

新座のにんじんと出合って15年。

究開始時から、地場野菜として収穫量

(食物栄養学科

うに頑張ってきた成果です。オリジナ ニューも加え、レシピが完成しました。 けるだけ」「まぜるだけ」のひと工夫メ ると幸いです。 ルレシピを参考に、味わっていただけ 産官学連携で新座の特産品になる

小林 三智子教授)

んちく) 学

〉」を開催

するための3つの蘊蓄(う いきいき!地域を元気に に関する講演会~

ングの酸味にあった「かけるだけ」「つ

知的財産を地域に提供し、

が愛犬との散歩コ・ 文字学園女子大学

新座市に住んで35年、

の周り

という理化学研究所

特別

いて考える機会を持つことも目的としま に最終年度を迎えるCOC事業のまとめに向けて、 生と志村学長とのご縁をもとに講演会を企画。平成30年度 ともに健康長寿、栄養、運動につ 招聘研究員の辨野

本学の

者は、「元気に健康で長生きしたい」という願いをかなえる 協力を得て、地域の人など約200人が集まりました。参加 市(朝霞・志木・和光・清瀬)、県医師会、マスコミ各社等の 研究所、国際栄養食文化健康研究所、後援に埼玉県や近隣4 当日は、主催に新座市、共催に本学大学院、地域連携共同 3つの「うんちく」に耳を傾け、

講演会プログラム

ササイズなども楽しみまし

物栄養学科 長澤 伸江教授、チェア 「十文字学園女子大学の温地区(う 辨野 義己先生) ~』(理化学研究所 辨野特別研究室 特別招 - (講演

べ物・栄養』(順天堂大学 大学院スポーツ健康科学研究科

公開講座一覧(2017年度)

文芸文化アカデミー -お菓子の文化史:古今東西甘いもの物語

新聞を知ろう・新聞と友達になろう -新聞スクラップにチャレンジ-障害者差別解消法を読む

- 障がいがあることは、不幸なことなのか オーストリアのワイン文化と地域づくり -家族農業における女性の経営参画-

今、子どもの権利擁護を考える 新座市内大学公開講座 (全3回) 世界へ発信された日本の芸術

- 浮世絵と西洋での日本文化受容-第1回「葛飾北斎の芸術-古今東西を魅了 第2回「浮世絵とジャポニスム」

第3回「19世紀西洋での日本芸術の受容

-英国のジャポニスム」 鍛えよう!子どもの心と体シリーズ Part2 -子どもの健康と心理学の接点

健康と食に関する講演会

~みんないきいき!地域を元気にするため の3つの蘊蓄学~

力を改めて学

師の言葉通り、その名な画家」という講

のため息が漏れま

た。「日本人で一番有

た。8歳を過ぎても、代ごとに解説しまし の生き生きとした絵 に、受講者から感嘆 表現技法の特徴を時 改名の変遷、題材 くなき制作意欲を



新座市内大学公開講座を開催北斎の魅力をたっぷりと/ でも10月21日(土)より全3回シ 今年度は本学にて10

となったこともあり、 開催された特別企画展「北斎とジャポニスム」が大きな話題 内大学公開講座「世界へ発信された日本の芸術 回は、「葛飾北斎の芸術 人気が集まりま 回の公開講座を開催 は、同時期に国立西洋美術館で 古今東西を魅了する浮世 /一ズで開催した新座市座を開催しました。なか

し、文芸文化学科の樋口一貴准教授が北斎の魅力、

13 Jumonji Press No.46

「健康と食に関する講演会」を開催うんち博士・べんの先生を講師に 12月9日(土)、ふるさと

3人の内定者に

デザイン部 青井 沙蘭、 川上 奈恵)

並木 千鶴さん

埼玉県立新座柳瀬高校卒業

●株式会社ホテルグランドパレスに





が来ていたこともあり、あま り迷うこともなかったです。

動を通して新座市の職員の 方と接する中で、一緒に仕 事ができたらいいなと思い ました。

最初から志望業界を絞っ ていたわけではなく、たま たま参加したセミナーでホテ ル業界に興味がわきました。 採用数が少なく、落ちてもと もとという気持ちで受けたと ころ内定をいただき、就職を 決めました。

Q.学業以外の経験や体験は就職活動に役立ったと思いますか。

接客のアルバイトを6年続 けました。アルバイト先の企 業内コンテストで全国表彰さ れ、コミュニケーションに自 信がつきました。アルバイト を通して人との接し方を学ぶ ことができ、就活にもとても 役立ったと思っています。

プラスちゃんくらぶの活 動では他学科の学生と一緒 に地域活動に取り組みまし た。課題解決のために協力 し合った経験は自分を成長 させてくれたと思います。学 外の人たちとも接する機会 が多く、就活に生きたと実感 しています。

ドラッグストアのアルバイ トを高1から続けてきまし た。失敗続きで「もう来なく ていい」と言われた時もあ りましたが、つらい時こそ気 持ちの切り替えが大事だと 学びました。あきらめずに 続けることが就活にも生きて くると思います。

Q.就職活動で苦労したことや学んだことを教えてください。

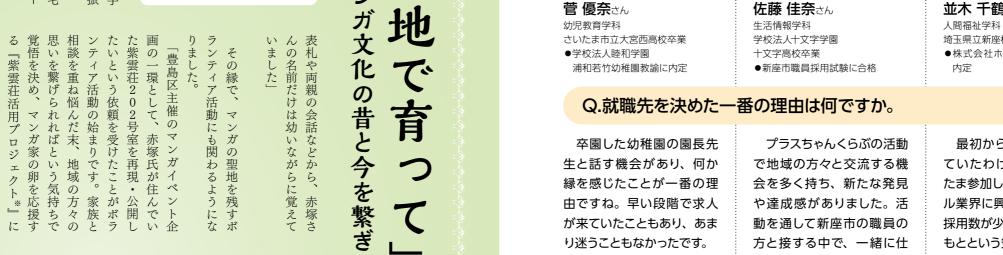
応募から面接試験までの 期間が少なく、模擬保育で 使う制作物の作成や課題曲 を覚えることに苦労しまし た。少し慌てましたが、子ど もたちに分かりやすく伝える ことを目標に、試行錯誤し ながら練習して臨んだことは いい経験になりました。

最初は志望業界が明確で なく、いろいろな合同説明 会に参加しました。他大学の 学生の様子を知り、自分の 視野が広がりました。自分 が行きたいと思う企業にいつ 出合うか分かりません。余裕 を持って履歴書やエントリー シートを作成することをお勧 めします。

窓口への行き来がほぼ毎日 続き、その生活がつらかった ですね。精神的、肉体的に 疲れた時は友達 とランチに行く

企業説明会、就職支援課

など気分転換し たことで乗り越え ることができたと 考えています。



mmaymm

Minimum Market

マ

た

ら

と経緯を語

な

ンガ家を

3

大家として携わること

た

増築・改装などはあったが、内装の梁や窓枠などは当時

の

な遊び

っ子の私にと

つ と言

"遊び場』 われて

いる で

わ大

も分か

『マンガ描

もらう

丰

「紫雲荘

0

パ自

の大山朱実さんは、

当時を振 持つ本学

> る 互

たわ キワ荘スタ

と説明 る

姿•

成果

の所有者を両親に

は手狭になった赤塚氏が住居兼

「紫雲荘」

は現存 借り

域の

に家賃補助などの

支援を行

って

ることを条件

大山さんは をよ

「生活を

共に

・刺激と

ことで有名なア

の近くに、

キワ荘だけで

著名なマンガ家が住んでいた

赤塚不二夫氏など

舞台は、



活動を継続する原動力と考えて

「彼らにた

さん

0)

ンスを用意で

と語る大山

「さんに、

して見守

で感じら 入居者

る魅力が、 の努力す

紫雲荘202号室。大山さんの記憶を基に当時の様子が 再現されている (前列)紫雲荘3期生の皆さん (後列)としま南長崎トキワ荘協働プロジェクト協議会の 皆さん 左が大山さん

Profile 十文字高校卒業。1976 (昭和51) 年十文字学園女子短期大学家政学科家政専攻卒業 両親が経営するアパート「紫雲荘」の一室にマンガ家の赤塚不二夫氏が住んでいたことがきっかけで、マンガ の聖地を残すボランティア活動を始める。現在、「紫雲荘」の大家として「としま南長崎トキワ荘協働プロジェ クト協議会」紫雲荘活用プロジェクトに携わるほか、豊島区国際アート・カルチャー特命大使も務める。



15 Jumonji Press No.46

◎紫雲荘 3期生 立藤ともひろ

昨年夏のイベントのために3期生の

立藤朋廣さん(写真前列左)が書き下

ろしたイラスト